

■ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|------------|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／株式 |
| 信託期間 | 2015年2月16日から2025年2月20日まで |
| 運用方針 | 投資信託証券への投資を通じて、主としてフロンティア地域を含む東南・南アジア各国の取引所に上場している株式および当該地域において事業活動を行う企業の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 |
| 主要投資対象 | 当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 ニュー・アジア・エクイティファンド (JPYクラス) フロンティア地域を含む東南・南アジア各国の株式等 マネー・マーケット・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品 |
| 当ファンドの運用方法 | ■主としてフロンティア地域を含む東南・南アジア各国の取引所に上場している株式および当該地域において事業活動を行う企業の株式等に投資します。 ■投資対象ファンドの運用は、現地の株式運用に強みをもつ「スミトモ ミツイ DS アセットマネジメント (シンガポール)」、「三井住友DSアセットマネジメント」および「UOBアセットマネジメント」が行います。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 |
| 組入制限 | ■外貨建資産への直接投資は行いません。 |
| 分配方針 | ■年2回 (原則として毎年2月および8月の20日。休業日の場合は翌営業日) 決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益 (評価損益を含みます。) 等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 |

三井住友・ ニュー・アジア・ ファンド

【運用報告書 (全体版)】

(2021年2月23日から2021年8月20日まで)

第 **13** 期
決算日 2021年8月20日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主としてフロンティア地域を含む東南・南アジア各国の取引所に上場している株式および当該地域において事業活動を行う企業の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

 **三井住友DSアセットマネジメント**

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間:午前9時~午後5時(土、日、祝・休日を除く)

三井住友・ニュー・アジア・ファンド

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近 5 期の運用実績

| 決 算 期 | 基 準 (分配落) | 価 額 | | 債 券 組 入 率 比 | 投 資 信 託 証 券 組 入 率 比 | 純 資 産 総 額 |
|-------------------|--------------|---------------|-------|----------------|---------------------------|--------------|
| | | 税 分 配 込 金 騰 落 | 中 率 | | | |
| | 円 | 円 | % | % | % | 百万円 |
| 9 期(2019年 8 月20日) | 8,643 | 0 | △ 4.2 | 0.0 | 98.2 | 1,915 |
| 10期(2020年 2 月20日) | 9,200 | 0 | 6.4 | 0.0 | 98.1 | 1,696 |
| 11期(2020年 8 月20日) | 7,749 | 0 | △15.8 | 0.0 | 97.9 | 1,301 |
| 12期(2021年 2 月22日) | 9,594 | 0 | 23.8 | 0.0 | 97.8 | 1,376 |
| 13期(2021年 8 月20日) | 10,008 | 30 | 4.6 | 0.0 | 97.8 | 1,245 |

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 | 価 額 | | 債 券 組 入 率 比 | 投 資 信 託 証 券 組 入 率 比 |
|--------------|--------|-----|------|----------------|---------------------------|
| | | 騰 落 | 率 | | |
| (期 首) | 円 | | % | % | % |
| 2021年 2 月22日 | 9,594 | | — | 0.0 | 97.8 |
| 2 月末 | 9,616 | | 0.2 | 0.0 | 98.1 |
| 3 月末 | 9,766 | | 1.8 | 0.0 | 98.2 |
| 4 月末 | 9,554 | | △0.4 | 0.0 | 97.8 |
| 5 月末 | 9,897 | | 3.2 | 0.0 | 98.6 |
| 6 月末 | 9,951 | | 3.7 | 0.0 | 98.4 |
| 7 月末 | 9,820 | | 2.4 | 0.0 | 99.0 |
| (期 末) | | | | | |
| 2021年 8 月20日 | 10,038 | | 4.6 | 0.0 | 97.8 |

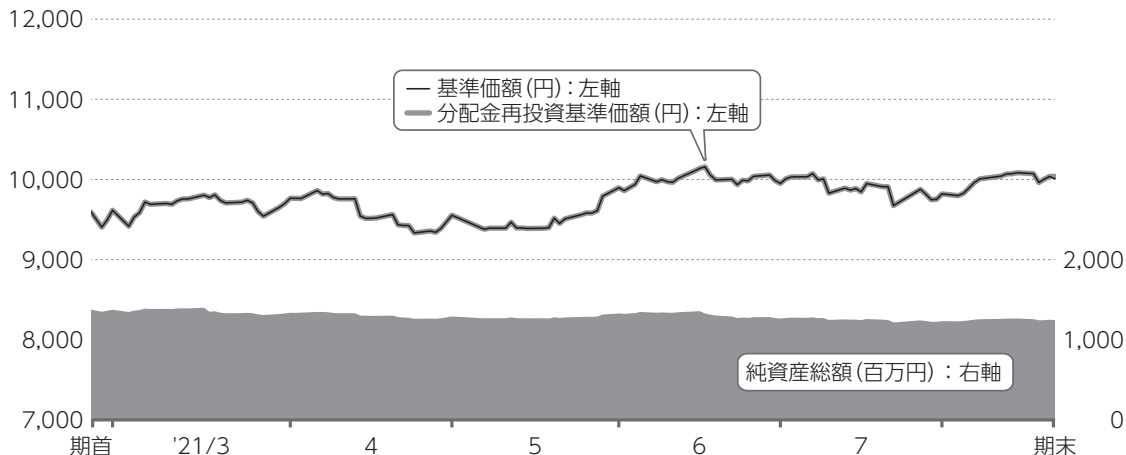
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2021年2月23日から2021年8月20日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

| | |
|-----|----------------------------|
| 期首 | 9,594円 |
| 期末 | 10,038円 (分配金30円(税引前)込み) |
| 騰落率 | +4.6% (分配金再投資ベース) |

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因(2021年2月23日から2021年8月20日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主としてフロンティア地域を含む東南・南アジア各国の取引所に上場している株式および当該地域において事業活動を行う企業の株式等に投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 新型コロナウイルスワクチン接種の進展による経済正常化期待が高まり、インドやシンガポール、ベトナムを中心に株式市場が上昇したこと
- アジア通貨が円に対して上昇したこと

投資環境について(2021年2月23日から2021年8月20日まで)

投資対象株式市場は、国によりまちまちの動きとなりました。また、為替市場は多くのアジア通貨が円に対して上昇しました。

株式市場

投資対象株式市場は、国によりまちまちの動きとなりました。各国が景気回復を重視した金融・財政政策を継続したこと、2021年末から2022年初にかけて、各国でワクチンの接種が進み経済が好転するとの期待から株式市場の下値は支えられました。一方で、変異ウイルスの影響による感染者増により、行動制限の強化に踏み切った国も多く、景気回復の遅れに対する懸念から、上値も抑えられました。

米国をはじめとする海外経済の回復による輸出の拡大が追い風となるシンガポール、タイやベトナムは上昇しました。インドは、感染第二波により期初から4月中旬にかけて調整したものの、感染の落ち着きとともに持ち直し、景気回復期待から期末にかけて上昇し、最高値を更新しました。

その反面、内需主導型経済のフィリピンやインドネシアでは、国内の新型コロナ感染者の増加が景気回復の遅れにつながるとの見方から上値が重く、前期末対比で下落しました。また、ロックダウン(都市封鎖)の導入にもかかわらず感染増に歯止めをかけられな

かったマレーシアも、首相が支持を失い政権交代を余儀なくされたことが嫌気されて下落しました。

為替市場

アジア通貨は、大半の通貨が対円で上昇しました。

米国の金融政策が正常化に向かうという観測が強まったことにより、大半のアジア通貨に対し、米ドル高が進行しました。一方、対米ドルでやや大幅に円安も進行し、対円について投資対象国の大半の通貨は期を通してみれば上昇しました。

ポートフォリオについて(2021年2月23日から2021年8月20日まで)

当ファンド

期を通じて「ニュー・アジア・エクイティファンド(JPYクラス)」を高位に組み入れました。

ニュー・アジア・エクイティファンド(JPYクラス)

当ファンドはフロンティア地域を含む東南・南アジア各国の取引所上場株式に投資しています。

●国別配分

景気の早期持ち直しが見込まれるインドの組入比率を高め、期を通じて相対的に大きな比率で保有しました。また、東南アジア域内で相対的に高い経済成長が見込まれるベトナムの組入比率も小幅に高めました。一方、主要産業である観光業の回復に想定以上に時間を要する見込みとなったタイ、および内

需の回復力が弱いインドネシアの組入比率を引き下げました。

●個別銘柄

株価水準や業績見通しに応じて、銘柄の入れ替えや組入比率の調整を行いました。具体的には、ウィルマー・インターナショナル(食品・飲料・タバコ)、プラデルタ・レスタリ(不動産)やダブル・インディア(家庭用品・パーソナル用品)などを売却する一方で、iファスト(各種金融)、P1インダストリーズ(素材)やベトナム産業貿易商業銀行(銀行)などを新たに組み入れました。

マネー・マーケット・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2021年2月23日から2021年8月20日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2021年2月23日から2021年8月20日まで)

(単位：円、1万口当たり、税引前)

| 項目 | 第13期 |
|-----------|----------|
| 当期分配金 | 30 |
| (対基準価額比率) | (0.299%) |
| 当期の収益 | 30 |
| 当期の収益以外 | - |
| 翌期繰越分配対象額 | 238 |

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

当期の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、左記の通りといたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

2 今後の運用方針

当ファンド

期を通じて「ニュー・アジア・エクイティファンド(JPYクラス)」を高位に組み入れます。

ニュー・アジア・エクイティファンド(JPYクラス)

東南アジアおよび南アジアの多くの国で、新型コロナウイルスの感染者数が依然として増加しています。短期的には、感染抑制のための行動制限により景気回復が先送りされるものの、各国でワクチン接種が進む来年初にかけて経済は正常化に向かう見通しです。

株式市場は、短期的には神経質な展開が予

想されるものの、徐々に景気回復と企業業績の改善に注目が集まり、上昇基調になるとみえています。

市場別では、潜在成長率が高く、ITサービスなどグローバルで高い競争力を誇る業種を擁するインドおよび、次代の成長に向けて事業再編に取り組む企業が多いシンガポールを優位とみえています。また、若い人口構成や東南アジア地域での好立地から、長期的に海外からの直接投資の拡大と内需拡大が見込まれるベトナムの投資魅力が高いとの見方も変わりません。銘柄選択では、経済成長に伴う人々の生活様式の高度化を実現する企業や、地域内およびグローバル展開による成長機会のある企業を引続き重点的に組み入れます。

マネー・マーケット・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

1万口当たりの費用明細 (2021年2月23日から2021年8月20日まで)

| 項目 | 金額 | 比率 | 項目の概要 |
|-------------|------|---------|--|
| (a) 信託報酬 | 54円 | 0.556% | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は9,767円です。 |
| (投信会社) | (13) | (0.135) | 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 |
| (販売会社) | (40) | (0.405) | 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受託会社) | (2) | (0.016) | 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) 売買委託手数料 | － | － | 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (株式) | (－) | (－) | |
| (投資信託証券) | (－) | (－) | |
| (先物・オプション) | (－) | (－) | |
| (c) 有価証券取引税 | － | － | 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (株式) | (－) | (－) | |
| (公社債) | (－) | (－) | |
| (投資信託証券) | (－) | (－) | |
| (d) その他費用 | 0 | 0.004 | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | (－) | (－) | 保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用 |
| (監査費用) | (0) | (0.004) | 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 |
| (その他) | (0) | (0.000) | その他：信託事務の処理等に要するその他費用 |
| 合計 | 54 | 0.560 | |

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

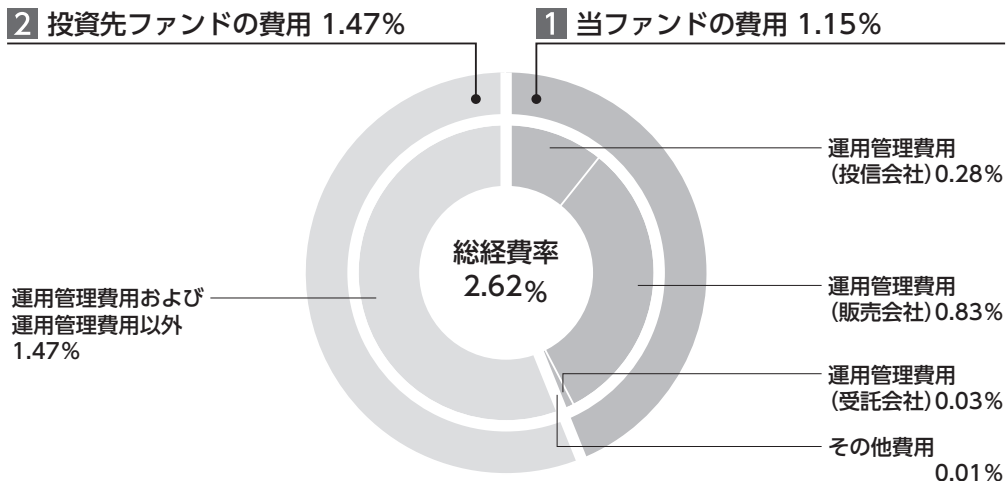
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



| | |
|-----------------|-------|
| 総経費率(1+2) | 2.62% |
| 1 当ファンドの費用の比率 | 1.15% |
| 2 投資先ファンドの費用の比率 | 1.47% |

※1の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※2の投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は2.62%です。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2021年2月23日から2021年8月20日まで)

投資信託証券

| | | 買 付 | | 売 付 | |
|-----|---------------------------|-------|--------|--------|---------|
| | | 口 数 | 買 付 額 | 口 数 | 売 付 額 |
| 国内 | ニュー・アジア・エクイティファンド(JPYクラス) | 3,781 | 37,000 | 22,439 | 232,000 |
| 合 計 | | 3,781 | 37,000 | 22,439 | 232,000 |

※金額は受渡し代金。

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年2月23日から2021年8月20日まで)

利害関係人との取引状況

三井住友・ニュー・アジア・ファンド

当期中における利害関係人との取引等はありません。

マネー・マーケット・マザーファンド

| 区 分 | 買付額等 A | うち利害関係人 との取引状況 B | | 売付額等 C | うち利害関係人 との取引状況 D | |
|-----|-----------|---------------------|------|-----------|---------------------|---|
| | | 百万円 | % | | 百万円 | % |
| 公社債 | 29 | 15 | 51.7 | - | - | - |

※平均保有割合 0.5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMBC日興証券株式会社です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2021年2月23日から2021年8月20日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2021年8月20日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

| ファンド名 | 期首(前期末) | 期 末 | | |
|---------------------------|---------|---------|-----------|------|
| | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 | 組入比率 |
| | 口 | 口 | 千円 | % |
| ニュー・アジア・エクイティファンド(JPYクラス) | 133,892 | 115,235 | 1,218,378 | 97.8 |
| 合 計 | 133,892 | 115,235 | 1,218,378 | 97.8 |

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

(2) 親投資信託残高

| 種 類 | 期首(前期末) | 期 末 | |
|-------------------|---------|-----|-------|
| | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 |
| | 千口 | 千口 | 千円 |
| マネー・マーケット・マザーファンド | 369 | 369 | 369 |

※マネー・マーケット・マザーファンドの期末の受益権総口数は76,752千口です。

■ 投資信託財産の構成

(2021年8月20日現在)

| 項 目 | 期 | 末 |
|-------------------------|-----------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| 投 資 信 託 受 益 証 券 | 1,218,378 | 96.2 |
| マネー・マーケット・マザーファンド | 369 | 0.0 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 47,923 | 3.8 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 1,266,670 | 100.0 |

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年8月20日現在)

| 項 目 | 期 末 |
|-------------------------------|----------------|
| (A) 資 産 | 1,266,670,456円 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 | 31,922,825 |
| 投資信託受益証券(評価額) | 1,218,378,491 |
| マネー・マーケット・マザーファンド(評価額) | 369,140 |
| 未 収 入 金 | 16,000,000 |
| (B) 負 債 | 20,729,001 |
| 未 払 収 益 分 配 金 | 3,734,974 |
| 未 払 解 約 金 | 9,730,675 |
| 未 払 信 託 報 酬 | 7,213,784 |
| 未 払 利 息 | 83 |
| そ の 他 未 払 費 用 | 49,485 |
| (C) 純 資 産 総 額 (A - B) | 1,245,941,455 |
| 元 本 | 1,244,991,491 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 | 949,964 |
| (D) 受 益 権 総 口 数 | 1,244,991,491口 |
| 1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D) | 10,008円 |

※当期における期首元本額1,434,788,050円、期中追加設定元本額8,231,730円、期中一部解約元本額198,028,289円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2021年2月23日 至2021年8月20日)

| 項 目 | 当 期 |
|-----------------------------|---------------|
| (A) 配 当 等 収 益 | △ 10,818円 |
| 支 払 利 息 | △ 10,818 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益 | 62,455,033 |
| 売 買 益 | 68,296,120 |
| 売 買 損 | △ 5,841,087 |
| (C) 信 託 報 酬 等 | △ 7,265,016 |
| (D) 当 期 損 益 金 (A + B + C) | 55,179,199 |
| (E) 前 期 繰 越 損 益 金 | △24,189,015 |
| (F) 追 加 信 託 差 損 益 金 | △26,305,246 |
| (配 当 等 相 当 額) | (2,395,502) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (△28,700,748) |
| (G) 計 (D + E + F) | 4,684,938 |
| (H) 収 益 分 配 金 | △ 3,734,974 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 (G + H) | 949,964 |
| 追 加 信 託 差 損 益 金 | △26,305,246 |
| (配 当 等 相 当 額) | (2,395,502) |
| (売 買 損 益 相 当 額) | (△28,700,748) |
| 分 配 準 備 積 立 金 | 27,264,744 |
| 繰 越 損 益 金 | △ 9,534 |

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※期末における、費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(26,129,423円)、信託約款に規定される収益調整金(2,395,502円)および分配準備積立金(4,870,295円)より分配可能額は33,395,220円(1万口当たり268円)となり、うち3,734,974円(1万口当たり30円(税引前))を分配金額としております。

■ 分配金のお知らせ

| 1万口当たり分配金(税引前) | 当 期 |
|----------------|-----|
| | 30円 |

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託の概要

| | |
|---------|---|
| ファンド名 | ニュー・アジア・エクイティファンド（JPYクラス） |
| 形態 | シンガポール籍外国投資信託（円建て） |
| 主要投資対象 | フロンティア地域を含む東南・南アジア各国の株式等 |
| 運用の基本方針 | 主として、アセアン、インド、フロンティア・アジア各国の取引所に上場している株式および当該地域において事業活動を行う企業の株式等に投資し、長期的な成長を目指します。 |
| 主な投資制限 | ・有価証券の空売りは行いません。 ・純資産総額の10%を超える借入れは行いません。 |
| 決算日 | 年1回決算（原則として、毎年12月31日） |
| 分配方針 | 年2回（原則として、1月と7月の25日。休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針です。ただし、分配を行わないことがあります。 |
| 運用管理費用 | 純資産総額に対して年0.77%程度* *年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。 |
| その他の費用 | ファンドの取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担しますが、これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。 |
| 申込手数料 | ありません。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 |
| 投資顧問会社 | スミトモ ミツイ DS アセットマネジメント（シンガポール）・ピーティーイー・リミテッド |
| 副投資顧問会社 | 三井住友DSアセットマネジメント株式会社、UOBアセットマネジメント・リミテッド |
| 購入の可否 | 日本において一般投資者は購入できません。 |

以下には、「ニュー・アジア・エクイティファンド（JPYクラス）」をシェアクラスとして含む「ニュー・アジア・エクイティファンド」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

■ 損益計算書 (2020年1月1日から2020年12月31日まで)

(単位：日本円)

| | |
|---------------|--------------|
| 収益 | |
| 受取配当金 | 26,989,339 |
| 受取利息 | 42,922 |
| | <hr/> |
| | 27,032,261 |
| 費用 | |
| 運用報酬 | 8,740,011 |
| 受託者報酬 | 1,376,009 |
| 監査報酬 | 1,471,208 |
| 登録費用 | 1,862,575 |
| 評価費用 | 1,377,818 |
| カストディ費用 | 1,492,891 |
| 取引費用 | 12,232,280 |
| その他費用 | 3,389,899 |
| | <hr/> |
| | 31,942,691 |
| 純損失 | <hr/> |
| | (4,910,430) |
| 投資評価純利益または純損失 | |
| 投資評価純利益(損失) | (6,196,752) |
| 為替評価純損失 | (70,749,034) |
| | <hr/> |
| | (76,945,786) |
| 税引前期間収益(損失)合計 | (81,856,216) |
| 控除：所得税 | (2,335,681) |
| 税引後期間収益(損失)合計 | <hr/> |
| | (84,191,897) |

■ 投資明細表 (2020年12月31日現在)

| | 株数 | 公正価値 (日本円) | 受益者に帰属する 純資産に占める割合 (%) |
|--|------------|---------------|------------------------------|
| 地域別上場株式 | | | |
| カンボジア | | | |
| NAGACORP LTD | 188,000 | 25,433,328 | 1.86 |
| カンボジア合計 | | 25,433,328 | 1.86 |
| インド | | | |
| CREDITACCESS GRAMEEN LTD | 30,000 | 32,040,674 | 2.35 |
| DABUR INDIA LTD | 35,900 | 27,088,221 | 1.98 |
| DR LAL PATHLABS LTD | 8,550 | 27,850,239 | 2.04 |
| EMBASSY OFFICE PARKS REIT | 42,600 | 20,720,034 | 1.52 |
| ESCORTS LTD | 16,200 | 28,851,486 | 2.12 |
| HCL TECHNOLOGIES LTD | 25,200 | 33,690,334 | 2.47 |
| HDFC BANK LTD-ADR | 5,100 | 38,048,467 | 2.79 |
| HDFC COMPANY LTD | 19,000 | 18,162,105 | 1.33 |
| HINDUSTAN UNILEVER LTD | 7,350 | 24,877,696 | 1.82 |
| HOUSING DEVELOPMENT FINANCE CORP LTD | 12,150 | 43,927,040 | 3.22 |
| L&T TECHNOLOGY SERVICES LTD | 12,300 | 40,662,260 | 2.98 |
| LARSEN & TOUBRO LTD | 18,400 | 33,092,913 | 2.42 |
| MAHINDRA & MAHINDRA LTD | 32,000 | 32,582,846 | 2.39 |
| MARUTI SUZUKI INDIA LTD | 2,150 | 23,239,243 | 1.70 |
| RELIANCE INDUSTRIES LTD | 27,200 | 76,302,687 | 5.59 |
| SBI LIFE INSURANCE COMPANY LTD | 14,000 | 17,887,981 | 1.31 |
| TATA CONSULTANCY SERVICES LTD | 7,500 | 30,338,176 | 2.23 |
| インド合計 | | 549,362,402 | 40.26 |
| インドネシア | | | |
| PT BANK RAKYAT INDONESIA TBK | 1,276,500 | 39,115,563 | 2.87 |
| PT INDUSTRI JAMU DAN FARMASI SIDO MUNCUL TBK | 4,160,000 | 24,608,317 | 1.80 |
| PT MEDIA NUSANTARA CITRA TBK | 2,620,000 | 21,948,197 | 1.61 |
| PT PURADELTA LESTARI TBK | 13,150,000 | 23,771,334 | 1.74 |
| インドネシア合計 | | 109,443,411 | 8.02 |

三井住友・ニュー・アジア・ファンド

| | 株数 | 公正価値 (日本円) | 受益者に帰属する 純資産に占める割合 (%) |
|---|-----------|---------------|------------------------------|
| マレーシア | | | |
| INARI AMERTRON BERHAD | 200,000 | 14,168,114 | 1.04 |
| MR DIY GROUP M BERHAD | 420,000 | 33,633,872 | 2.46 |
| PENTAMASTER CORPORATION BERHAD | 150,000 | 19,442,657 | 1.43 |
| SP SETIA BERHAD | 600,000 | 15,246,123 | 1.12 |
| UNISEM (M) BERHAD | 100,000 | 15,862,128 | 1.16 |
| YINSON HOLDINGS BERHAD | 150,000 | 22,137,678 | 1.62 |
| マレーシア合計 | | 120,490,572 | 8.83 |
| フィリピン | | | |
| AC ENERGY CORP | 2,530,000 | 48,952,881 | 3.59 |
| GT CAPITAL HOLDINGS INC | 23,000 | 28,926,702 | 2.12 |
| WILCON DEPOT INC | 604,000 | 21,945,165 | 1.60 |
| フィリピン合計 | | 99,824,748 | 7.31 |
| シンガポール | | | |
| DBS GROUP HOLDINGS LTD | 20,000 | 39,121,625 | 2.87 |
| NANOFILM TECHNOLOGIES INTERNATIONAL LTD | 100,000 | 34,372,035 | 2.52 |
| SINGAPORE TECHNOLOGIES ENGINEERING LTD | 70,000 | 20,888,822 | 1.53 |
| UNITED OVERSEAS BANK LTD | 9,000 | 15,822,224 | 1.16 |
| UOL GROUP LTD | 43,000 | 25,898,547 | 1.90 |
| WILMAR INTERNATIONAL LTD | 63,000 | 22,884,745 | 1.67 |
| シンガポール合計 | | 159,047,998 | 11.65 |
| タイ | | | |
| ADVANCED INFORMATION SERVICE PCL-NVDR | 22,000 | 13,343,279 | 0.98 |
| BANGKOK DUSIT MEDICAL SERVICES PCL-NVDR | 250,000 | 17,919,693 | 1.31 |
| CP ALL PCL-NVDR | 110,000 | 22,080,852 | 1.62 |
| KASIKORNBANK PCL-NVDR | 30,000 | 11,682,262 | 0.86 |
| OSOTSPA PCL-NVDR | 170,000 | 20,797,182 | 1.52 |
| PTT PCL-NVDR | 220,000 | 32,220,987 | 2.36 |
| SIAM CEMENT PCL-NVDR | 16,000 | 20,841,981 | 1.53 |
| タイ合計 | | 138,886,236 | 10.18 |

三井住友・ニュー・アジア・ファンド

| | 株数 | 公正価値 (日本円) | 受益者に帰属する 純資産に占める割合 (%) |
|--|---------|---------------|------------------------------|
| ベトナム | | | |
| DIGIWORLD CORP | 91,700 | 35,150,892 | 2.58 |
| JSC BANK FOR FOREIGN TRADE OF VIETNAM | 62,900 | 27,543,525 | 2.02 |
| VIETNAM DAIRY PRODUCTS JOINT STOCK COMPANY | 57,360 | 27,914,138 | 2.04 |
| VINCOM RETAIL JOINT STOCK COMPANY | 112,825 | 15,846,056 | 1.16 |
| VINHOMES JSC | 50,000 | 20,016,089 | 1.47 |
| ベトナム合計 | | 126,470,700 | 9.27 |
| 非上場株式 | | | |
| 投資ポートフォリオ | | 1,328,959,395 | 97.38 |
| その他純資産 | | 35,737,046 | 2.62 |
| 受益者に帰属する純資産 | | 1,346,696,441 | 100.00 |

マネー・マーケット・マザーファンド

第10期 (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

| | |
|------|--|
| 信託期間 | 無期限 (設定日: 2011年5月31日) |
| 運用方針 | 主として、円貨建の短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。 |

■ 最近5期の運用実績

| 決 算 期 | 基 準 価 額 | | 債券組入 比 率 | 純 資 産 総 額 |
|----------------|-------------|--------------|-------------|--------------|
| | | 期 中 騰 落 率 | | |
| 6期(2017年3月1日) | 円 10,033 | % △0.1 | % 66.0 | 百万円 137 |
| 7期(2018年3月1日) | 10,025 | △0.1 | 76.9 | 90 |
| 8期(2019年3月1日) | 10,019 | △0.1 | 74.1 | 89 |
| 9期(2020年3月2日) | 10,013 | △0.1 | 80.6 | 77 |
| 10期(2021年3月1日) | 10,002 | △0.1 | 75.9 | 76 |

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

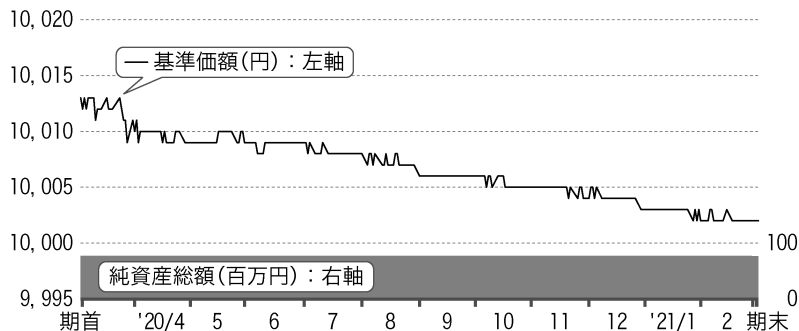
| 年 月 日 | 基 準 価 額 | | 債券組入 比 率 |
|--------------------|-------------|--------|-------------|
| | | 騰 落 率 | |
| (期 首) 2020年3月2日 | 円 10,013 | % - | % 80.6 |
| 3月末 | 10,010 | △0.0 | 77.0 |
| 4月末 | 10,009 | △0.0 | 76.9 |
| 5月末 | 10,009 | △0.0 | 74.4 |
| 6月末 | 10,009 | △0.0 | 74.4 |
| 7月末 | 10,008 | △0.0 | 74.3 |
| 8月末 | 10,006 | △0.1 | 75.7 |
| 9月末 | 10,006 | △0.1 | 75.7 |
| 10月末 | 10,005 | △0.1 | 75.6 |
| 11月末 | 10,004 | △0.1 | 75.5 |
| 12月末 | 10,003 | △0.1 | 75.7 |
| 2021年1月末 | 10,002 | △0.1 | 75.6 |
| 2月末 | 10,002 | △0.1 | 75.9 |
| (期 末) 2021年3月1日 | 10,002 | △0.1 | 75.9 |

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

基準価額等の推移



| | |
|-----|---------|
| 期首 | 10,013円 |
| 期末 | 10,002円 |
| 騰落率 | -0.1% |

▶ 基準価額の主な変動要因 (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

下落要因

- ・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

▶ 投資環境について (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

当期の短期金利は上昇しました。

新型コロナウイルスの感染拡大により景気が大きく落ち込んだことや、物価上昇率の伸びが下落に転じたことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初から世界的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、リス

ク回避の動きが強まったことから、安全資産としての短期国債への運用ニーズの強まりを背景に3月下旬に利回りは一時-0.4%台まで低下しました。その後、過度な国債需給の引き締めに対し、日銀が保有国債の売り現先（買い戻し条件付き売却）を断続的に実施したことから徐々に需給が緩和し、利回りは上昇に転じました。また、政府による大規模経済対策が策定され、5月から短期国債が大幅に増発されたことから利回りは上昇基調をたどりました。しかし、日銀が短期国債買入額を増額したことから利回り上昇は一服し、その後は-0.10%を挟んで概ねレンジ内での推移となりました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは期首-0.199%に対し、期末は-0.110%へ上昇しました。

▶ ポートフォリオについて (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

② 今後の運用方針

2%の物価安定目標の達成が展望出来ない中、日銀によるマイナス金利政策が継続される見込みです。短期国債利回りやコールローン（金融機関同士のごく短期の資金の貸借）翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏での推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

| 項目 | 金額 | 比率 | 項目の概要 |
|--------------------|-----------|-------------------|--|
| (a) その他費用 (その他) | 1円 (1) | 0.007% (0.007) | その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用 |
| 合計 | 1 | 0.007 | |

期中の平均基準価額は10,006円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

公社債

| | | 買付額 | 売付額 |
|----|---------|--------------|---------------------|
| 国内 | 特 殊 債 券 | 千円 58,705 | 千円 — (62,000) |

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※()内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2021年3月1日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

| 区 分 | 期 | | | | 末 | | |
|--------------------------|--------------------|--------------------|----------------|--------------------|-----------|----------|----------------|
| | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 組 入 比 率 | うちBB格以下 組 入 比 率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| | 千円 | 千円 | % | % | % | % | % |
| 特 殊 債 券 (除 く 金 融 債) | 58,000 (58,000) | 58,278 (58,278) | 75.9 (75.9) | — (—) | — (—) | — (—) | 75.9 (75.9) |
| 合 計 | 58,000 (58,000) | 58,278 (58,278) | 75.9 (75.9) | — (—) | — (—) | — (—) | 75.9 (75.9) |

※()内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※—印は組入れなし。

B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

| 種 類 | 銘 柄 | 期 末 | | | |
|--------------------------|-----------------------------|-----|---------|--------|------------|
| | | 利 率 | 額 面 金 額 | 評 価 額 | 償 還 年 月 日 |
| | | % | 千円 | 千円 | |
| 特 殊 債 券 (除 く 金 融 債) | 第133回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券 | 1.3 | 14,000 | 14,030 | 2021/4/30 |
| | 第135回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券 | 1.1 | 15,000 | 15,041 | 2021/5/31 |
| | 第142回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券 | 1.0 | 15,000 | 15,076 | 2021/8/31 |
| | 第152回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券 | 1.1 | 14,000 | 14,129 | 2021/12/28 |
| 合 計 | | — | 58,000 | 58,278 | — |

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 投資信託財産の構成

(2021年3月1日現在)

| 項 目 | 期 末 | |
|-------------------------|--------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| 公 社 債 | 58,278 | 75.5 |
| コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他 | 18,881 | 24.5 |
| 投 資 信 託 財 産 総 額 | 77,159 | 100.0 |

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年3月1日現在)

| 項 目 | 期 末 |
|-----------------|-------------|
| (A) 資 産 | 77,159,018円 |
| コーポレート債 | 18,809,548 |
| 公社債(評価額) | 58,278,230 |
| 未収利息 | 71,240 |
| (B) 負 債 | 389,247 |
| 未払解約金 | 389,196 |
| 未払利息 | 51 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 76,769,771 |
| 元 本 | 76,752,334 |
| 次期繰越損益金 | 17,437 |
| (D) 受益権総口数 | 76,752,334口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 10,002円 |

※当期における期首元本額77,141,454円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額389,120円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

| | |
|---|-------------|
| インド内需関連株式ファンド | 119,759円 |
| 高成長インド・中型株式ファンド | 17,711,132円 |
| アジア好利回りリート・ファンド | 99,971円 |
| 三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) | 7,742,960円 |
| 三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型) | 1,337,053円 |
| 三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/3カ月決算型) | 4,909,194円 |
| 三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/3カ月決算型) | 1,456,790円 |
| 日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし) | 14,208,735円 |
| 日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(原定為替ヘッジ) | 1,237,272円 |
| 三井住友・ニュー・アジア・ファンド | 369,177円 |
| アジア好利回りリート・ファンド(年1回決算型) | 997円 |
| 日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし/年2回決算型) | 1,187,376円 |
| 日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(原定為替ヘッジ/年2回決算型) | 389,132円 |
| 日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルCIBファンド(為替ヘッジあり) | 289,352円 |
| 日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルCIBファンド(為替ヘッジなし) | 419,066円 |
| グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジあり) | 4,140,881円 |
| グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジなし) | 11,065,647円 |
| グローイング・フロンティア株式ファンド | 2,185,185円 |
| 高成長インド・中型株式ファンド(年1回決算型) | 7,882,655円 |

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2020年3月3日 至2021年3月1日)

| 項 目 | 当 期 |
|-----------------------|----------|
| (A) 配 当 等 収 益 | 641,537円 |
| 受 取 利 息 | 656,090 |
| 支 払 利 息 | △ 14,553 |
| (B) 有 価 証 券 売 買 損 益 | △716,530 |
| 売 買 損 益 | △716,530 |
| (C) 信 託 報 酬 等 | △ 5,051 |
| (D) 当 期 損 益 金 (A+B+C) | △ 80,044 |
| (E) 前 期 繰 越 損 益 金 | 97,557 |
| (F) 解 約 差 損 益 金 | △ 76 |
| (G) 計 (D+E+F) | 17,437 |
| 次 期 繰 越 損 益 金 (G) | 17,437 |

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。